

北陸新幹線敦賀開業に向けた受け皿づくり検討業務 結果概要(平成 29 年 3 月)

<事業目的>

北陸新幹線敦賀延伸に向けて、既存の観光資源等を活用した施策に、新幹線利用者のニーズという要素を加えた、滞在時間の増加や民間活力等の活用策を講じることで、更なる効果的・効率的な事業展開を検討する。旅行市場を把握したシンクタンク等が、新幹線利用者のニーズなどから本市の状況を外部から客観的に分析することで、さらなるまちづくりに係る事業展開の可能性・有効性はあるのか等、本市の今後の魅力向上に向けた現状把握を行う。他市町の開業後の傾向分析、委託先が持つトレンド動向や発地調査等から、本市に訪れる新幹線利用者が求めるであろう仮説や想定を作成し、受け皿づくりの方策を検討する。

1. アンケート件数 (※3地域の駅周辺の県外宿泊者を対象)

金沢:120件 富山:73件 高岡:115件

2. 居住地

金沢:発地の割合

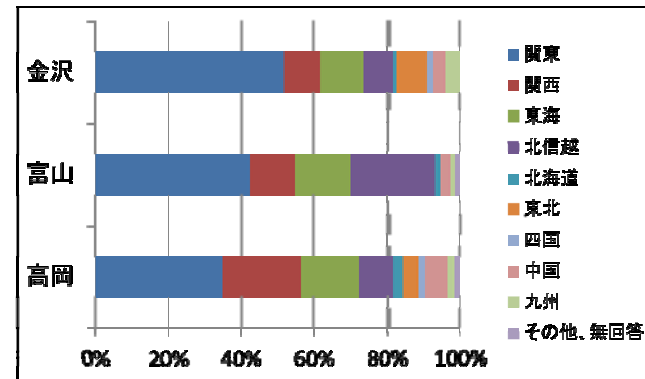
(関東:52%、関西:10%、東海12%)

富山:発地の割合

(関東:43%、関西:12%、東海15%)

高岡:発地の割合

(関東:35%、関西:22%、東海16%)

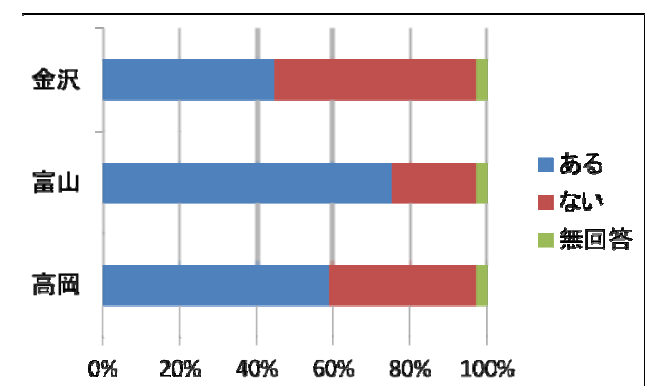


3. 福井県に訪れたことがあるか。

金沢:「ある」と回答:45%、「ない」と回答:53%

富山:「ある」と回答:75%、「ない」と回答:22%

高岡:「ある」と回答:59%、「ない」と回答:38%

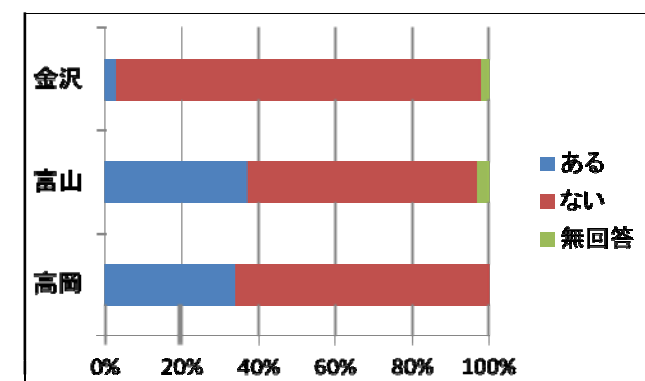


4. 福井県で思い当たる観光地は。

金沢:「永平寺」「東尋坊」が各約 30 名、「恐竜博物館」「一乗谷朝倉氏遺跡」「美浜・若狭」が各1名程度

富山:「永平寺」「東尋坊」が全体の 50%、「越前海岸」「恐竜博物館」「芦原温泉」「気比の松原」「三方五湖」

高岡:「東尋坊」が全体の約 50%、続いて「永平寺」、あと「越前海岸」「恐竜博物館」「芦原温泉」「気比の松原」



5. 敦賀に訪れたことがあるか。

金沢:「ない」と回答:95%

富山:「ない」と回答:60%

高岡:「ない」と回答:66%

6. 敦賀で思い当たる観光地(関東の人が回答分)

金沢:なし

富山:氣比神宮1件

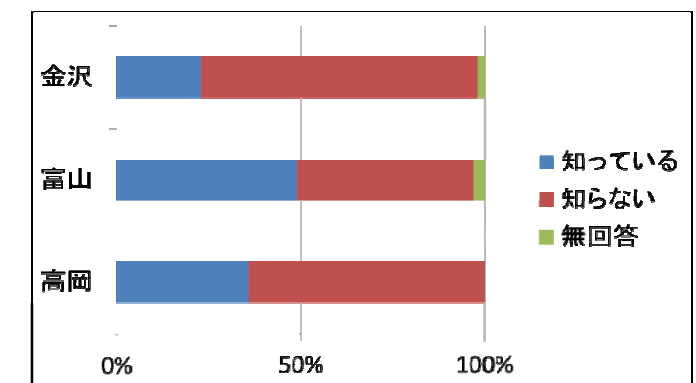
高岡:なし

7. 北陸新幹線が敦賀まで延伸することを知っているか。

金沢:「知っている」と回答:23% 「知らない」と回答:75%

富山:「知っている」と回答:49% 「知らない」と回答:48%

高岡:「知っている」と回答:36% 「知らない」と回答:64%

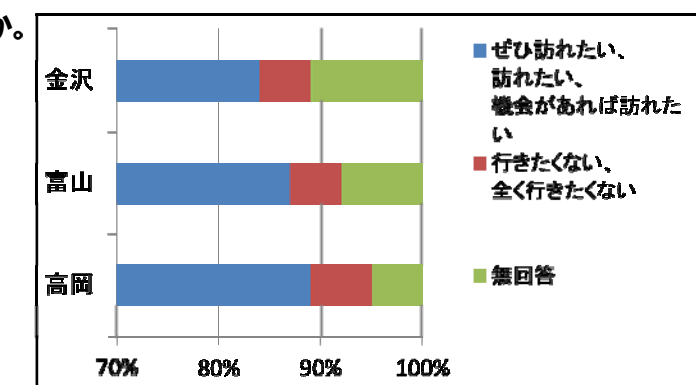


8. 北陸新幹線が敦賀まで延伸した場合、敦賀に訪れてみたいか。

金沢:訪れたい、機会があれば訪れたい:84%

富山:訪れたい、機会があれば訪れたい:87%

高岡:訪れたい、機会があれば訪れたい:89%



9. 北陸新幹線敦賀開業に向け、敦賀市に希望すること。

金沢:「もっとPRした方がいい」「全国に発信した方がいい」と言ったPRに関する意見が多い。

富山:「観光の充実」「市のアピール」と言った意見があった。

高岡:「情報発信」「観光PR」と言った意見が多い。

<総括>

今年度事業の観光意識調査や来訪者動向調査により、首都圏での北陸新幹線敦賀延伸への認知度は低く、また敦賀市の観光についてイメージを持っていない人が多いことが明らかになった。また、旅行会社ですら敦賀市の観光コンテンツや魅力を理解していない現状がある。観光における目的が多様化している昨今、観光を推進する地域にとっていかに個性的で、魅力的な観光メニューを数多く揃え、それを周知できるかが成功の鍵である。

大きな課題は認知度の向上であり、特に北陸新幹線敦賀延伸に向けて、首都圏への情報発信が必要である。平成 29 年度においては、観光客のニーズを把握し、洗い出した敦賀市固有の観光資源の特徴や強みをどのように活かせばニーズに応えられるかを考え、敦賀ならではの価値を生み出していく必要がある。首都圏ニーズにマッチし、マスコミや旅行会社が興味を持つような情報の発信、PRを行うことが、首都圏での認知度向上につながると考えられる。